

これまでにがん遺伝子パネル検査を受けた患者さんへ 【過去の検体、診療情報の調査研究への使用のお願い】

順天堂大学医学部附属順天堂医院腫瘍内科では「がんクリニカルシーケンスデータを用いた悪性腫瘍の病態解明とがんクリニカルシーケンスがもたらす臨床的価値の評価のための観察研究」という研究を行っております。この研究は、日本のがん遺伝子パネル検査を受けた患者さんに見られた遺伝子変異パターンと病気や治療の反応性との関連を調べることを主な目的としています。そのため、過去にがん遺伝子パネル検査を受けた患者さんの検査結果、カルテ等の治療データを使用させていただきます。

この研究の対象となる患者さんは、がんの診断を受けた方で、西暦2016年4月7日から西暦2023年10月3日の間に腫瘍内科でがん遺伝子パネル検査であるMSK-IMPACT検査、Oncoguide™ NCC オンコパネルシステム、Foundation One CDx がんゲノムプロファイル、Foundation One Liquid CDx がんゲノムプロファイル、GUARDANT360検査、Loxo Oncology社との共同研究による遺伝子パネル検査を受けた（検査）を受けた方です。

- ・利用させていただくカルテ情報、およびカルテ期間は下記です。
診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（遺伝子パネル検査結果）
期間：西暦2016年4月7日～西暦2023年10月3日

この研究は順天堂大学医学部医学系研究等倫理委員会の承認を受けて行われます。また、情報（カルテ情報、検査結果）の利用を開始する予定日は以下の通りです。

- ・研究実施期間 西暦2016年4月7日～西暦2026年7月31日まで
- ・研究責任者 加藤俊介

・情報（カルテ情報、検査結果）の利用を開始する予定日 西暦2023年10月3日
過去の検体、データを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離れた上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報を含みません。

調査研究の結果、特許などの知的財産が生じる可能性もございますが、その権利は大学・研究者に帰属し、あなたには帰属しません。

この研究は、公的資金を用いて実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供を受けておりません。研究者が企業等から独立して計画し実施することから、特定の企業が研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究者等は、被験者からインフォームド・コンセント(説明と同意)を受けることを必ずしも要しないと定められております。そのため今回の研究では患者さんから同意取得はせず、その代りに対象となる患者さんへ向けホームページで情報を公開しております。

この研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望や、研究に関するご質問がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。

【問い合わせ先】

順天堂大学医学部附属順天堂医院 腫瘍内科

電話：03-3813-3111(順天堂医院大代表)

研究担当者：加藤俊介